

高難度消化器外科手術における地域連携診療体制について

— 地域の医療機関と連携し、安心して治療を受けていただくために —

岡山大学病院 消化器外科(消化管外科、肝・胆・膵外科)では、岡山県内ならびに近隣地域の医療機関と密接に連携し、高難度の消化器外科手術を受けられる患者さんに対して、安全で質の高い医療を提供する体制を整えています。

当科では、専門性の高い手術を岡山大学病院で実施するとともに、術前検査や術前治療、術後の継続的な診療や経過観察については、患者さんのお住まいに近い医療機関と役割を分担して行っています。

これにより、患者さんやご家族の通院負担を軽減しながら、地域の連携医療機関と岡山大学病院が協力して、一貫した質の高い医療を提供しています。

地域医療機関との協議に基づく連携体制

岡山大学病院では、地域の連携医療機関との間で、対象となる高難度手術の診療体制および術後のフォローアップ体制について定期的に協議を行い、患者さんに最適な診療を提供できる体制を構築しています。

1. 術前の診療体制

手術に必要な検査や術前治療(化学療法、栄養管理、全身状態の評価など)については、岡山大学病院と地域の医療機関が協議し、それぞれの役割を分担して実施します。

手術適応や治療方針については、紹介元医療機関とも情報共有を行い、患者さんにとって最善の治療計画を決定します。

2. 手術の実施体制

食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆道がん、膵がんなどに対する高度な専門技術を必要とする手術は、岡山大学病院において専門医を中心としたチームが実施します。

手術の適応や術式については、医師のみならず看護師・薬剤師などの多職種、連携医療機関と協議しながら決定し、安全で質の高い医療の提供に努めています。

3. 術後のフォローアップ体制

術後の定期受診、検査、薬物療法、栄養管理などについては、患者さんの病状や居住地域に応じて、岡山大学病院と連携医療機関が役割分担して対応します。

また、病状の変化や合併症が疑われる場合には、連携医療機関から迅速に当院へ紹介いただき、必要な診療を速やかに受けていただける体制を整えています。

4. 診療情報の共有

診療経過や検査結果、治療方針については、岡山大学病院と連携医療機関との間で適切に情報共有を行い、継続性のある診療を実施しています。

患者さんがどの医療機関を受診された場合でも、一貫した医療を受けていただけるよう努めています。

患者さんへのご説明

高難度の手術を受けられる患者さんには、術前に岡山大学病院と連携医療機関との役割分担や術後のフォローアップ体制についてご説明し、ご理解いただいたうえで治療を進めています。

ご不明な点やご不安なことがありましたら、担当医にお気軽にご相談ください。

安心して治療を受けていただくために

岡山大学病院消化器外科では、連携医療機関と協力し、患者さんが安心して高度な外科治療を受けられる環境づくりに取り組んでいます。

専門性の高い医療と連携医療機関での診療体制を組み合わせることで、術前から術後まで切れ目のない一貫性のある医療を提供し、患者さんお一人おひとりを支えてまいります。

令和 8 年 6 月

岡山大学病院